

# 読書の記録管理：知的消費者として本を読む

Reading Record Management: Reading Books as an Intellectual Consumer

HAYASHI Tetsuya

林 哲 也

図書館学課程非常勤講師

## 抄録：

パーソナルな読書の記録管理および物品としての本の取扱方法について考える。本を読む前に／読みながら／読んだ後に作業するよう推奨したい事項がある。知的消費者として私的な読書記録を維持更新する。読んだ本もさることながら読まなかった本こそ記録しておく価値がありチェックリストとして役に立つ。用の済んだ本は順次手放して手持ち在庫をスリム化する。

## Abstract：

This study examines personal reading record management and handling books as goods. We recommend tasks to do before, during, and after reading books. As intellectual consumers, we maintain our personal reading records. Keeping records, in the form of checklists, of the books we have not read is useful for us as much or more than that of the books we have read. We endeavor to reduce the bulk of our inventory stock by releasing books after reading.

キーワード：読書法、蔵書管理、ファイリング、事務管理、ホームファイリング

Keywords：Reading, Collection management, Filing systems, Office management, Home filing system

## 1. はじめに

「読書を説いた書物は随分沢山ある」<sup>1)</sup>。古今東西のいろいろな人々がさまざまに論じている。けれどもたとえば、目録検索を駆使して版の違いを点検確認する事前作業の有用性が言及されていない等、不足を感じる事項がある。本稿は、既存の読書論へのいくばくかの補足を試みるもの

---

1) 田中菊雄. 現代読書法. 講談社、1987 (講談社学術文庫：[775])、p. 3.

である。

一緒に住居で生活している家族を自身と同じく本を読む人間とはおよそみなしておらず図書を衣服と同様に自分ひとりの個人占有物と思っている論者が多い。本棚を家庭内で共有する<sup>2)</sup>ことへの言及<sup>3)</sup>は珍しい。自分のシャンプーを同居者が勝手に使うトラブル<sup>4)</sup>。箸や湯呑茶碗と同様の属人性。

ときおり本稿のような雑誌記事を投稿して知的生産者になることがたまにはあっても、基本的には知的消費者として生活している。求道としての読書<sup>5)</sup>ではなく単なる教養娯楽のために本を読む。「趣味としての読書というのも、知的消費の一種であって、そのかぎりではマージャンや将棋とおなじ性質のものである。」「今日、読書はおもに知的消費としてとらえられているのである。」<sup>6)</sup>

消費者として買い物に行く。出かける前に、ただいま現在の自分の手持ち在庫の状況を確認把握しておく。重複購入や無駄なつまらないものを買ってしまう残念な事故の頻度を減らすよう精一杯努力している。そもそも間違った使い方はできないというほどの設計、フルプルーフで事故を予防したい<sup>7)</sup>。けれども時々あいかわらず失敗してしまう。

## 2. 読む前の事前準備作業

「国際図書館連盟 (IFLA) が1998年に刊行した「書誌レコードの機能要件」(Functional Requirements for Bibliographic Records : FRBR) という報告書...では、利用者が一般的に書誌データを通じて実行するであろう行為を「利用者タスク」としてまとめ、「発見」(find)、「識別」(identify)、「選択」(select)、「入手」(obtain) の四つの利用者タスクを設定しています。」<sup>8)</sup>

「従来の目録法では、「版」を基本的な単位として扱い、どの著作に対しても版ごとに目録を作成するように定められている。」「FRBRでは、著作と版（「体現形」および「個別資料」）の間に「表現形」という概念を設け、「知的芸術的に生み出された抽象的な存在である著作 (work) を抽象から具体へと4つの段階でとらえ、「著作」を何らかの方法で表現した「表現形」(expression)、「表現形」に物理的な形態をもたせた「体現形」(manifestation)、通常複製物として配布される「体現形」のうち手元にある一つを指す「個別資料」(item)を設定する」<sup>9)</sup>

2) 家族共有の本棚を置くか悩んでいます。(Yahoo!知恵袋), [https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question\\_detail/q11232793471](https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q11232793471)

共有本棚のある家, <https://www.margherita.jp/blog/kyouyu/>, (参照 2023-10-27).

3) 渡部昇一. 知的生活の方法. 講談社, 1976 (講談社現代新書; 436), p. 212.

4) 家族が私のシャンプーとボディーソープを使ってきます (Yahoo!知恵袋), [https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question\\_detail/q102286483155](https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q102286483155), (参照 2023-10-27).

5) 森信三. 人生論としての読書論. 致知出版社, 2011, p. 151-158.

6) 梅棹忠夫. 知的生産の技術. 岩波書店, 1969 (岩波新書; 青版 722), p. 10.

7) 安野光雅. 夜間金庫 (起承転結, 15). ユリイカ, 14(3), 1982. 3, p. 34-41.

安野光雅. 夜間金庫. 起笑転結. 青土社, 1983, p. 143-152.

安野光雅. 夜間金庫. 起笑転結. 文藝春秋, 1988 (文春文庫), p. 155-165.

8) 木村麻衣子編著. 『日本目録規則 2018年版』入門. 日本図書館協会, 2022 (JLA 図書館実践シリーズ: 47), p. 6, p. 10.

9) 那須雅熙, 蟹瀬智弘著. 情報資源組織論及び演習. 第3版. 学文社, 2020 (ライブラリー図書館情報学; 9), p. 89-90.

## (1) 著作を発見する

何らかの情報に出会う。特定の著作の存在を広告やマスコミから知る。情報を採集する。新聞や雑誌に書籍の新刊情報が載っている。興味関心を惹くものがあれば直ちにメモする。記録することを日常の生活習慣にする。記録しそこねればたちまち忘れていくばかり。朗読番組や映画やドラマの原作を読む<sup>10)</sup>。ラジオやテレビの出演者やインタビューゲストに著書や雑誌記事がないか検索する。コラム等の執筆者がうろ覚えのまま言及している本をあえて探してみつけて読む。

## (2) 表現形を識別する

目録検索で版を識別同定する。断片的な情報を手掛かりに検索する。ひとつの著作でも複数種類の表現形があるかもしれない。およそこの世にありとあらゆる版をなるべくもれなく調べて確認する。目録上に同定する。諸版を比較対照し、どれが現在の自分にとって最適最良の版か検討し予測する。

## (3) 体現形を選択する

入手先を択ぶ。入手の容易さを優先するか。より適切な版を求めて他の所蔵館にも手を広げて探索するか。身近な図書館の所蔵している版で用が足りるか。ウェブサイト全文フルテキストが無料で公開されているかもしれない。購入するか。図書館や書店に現物を見に出かける。書架の前に立つ。棚に並んでいる本を手取る。本文をあわててすぐに読み始める前に、奥付やあとがきや前書きで書誌的来歴を点検する。以前に読んだことのある本をうっかり未読と錯覚誤認しないようチェックする。

## (4) 個別資料を入手する

現物を借りたり買ったりしたときは入手後ただちに、書誌事項等を速やか記録しておく。あとでまとめて、などと後回し先送りにしない。加筆修正された版の存在に、目録検索で再確認したとき遅れ馳せに気付く場合がある。読むのを中断して新しい版の入手を手配する。ただし、旧い版の方が有用な事例もときおりある。

借りた本に予約が付いていたときは処理の優先順位を上げる。なるべく早く返却する。忙しくてしばらく読めそうもないならば、後日読むことに決めて当座はひとまず返却し、予約の列の最後尾に並び直す。予約が付いていなくてもなるべく早く返却する。読みもしない本を無駄に積読しておくとは邪魔で目障り鬱陶しい。手元に保持する本は現在の自分に用のあるものだけに限定する。

10) 池澤夏樹. スティル・ライフ. 芥川賞全集、第14巻、文藝春秋、1989、p.113-151、第九十八回芥川賞選評 昭和六十二年下半期 p.427-436、受賞のことば p.462.

池澤夏樹. スティル・ライフ. 中央公論社、1991 (中公文庫; [い3-3])、p.7-89.

池澤夏樹原作、津川泉脚色、川戸貞吉演出. スティル・ライフ. 1988年1月24日 日曜日 22:05-23:00、TBS ラジオ、ラジオ図書館.

池澤夏樹原作、山本淳子脚色、吉田努演出. スティル・ライフ. 1995年7月22日 土曜日 22:00-22:50、NHKFM、FMシアター.

池澤夏樹原作、筒井ともみ脚本、堀川とんこう演出. スティル・ライフ: 霧子とマリエの犯罪的同棲生活. 1989年4月29日 土曜日 22:00-23:54、TBS テレビ、土曜ドラマスペシャル.

### 3. 読みながらメモをとる

メモを書きながら読む。読みながらその最中にその場でメモする。あとでまとめたのつもりで後回し先延ばしにしては億劫になってしまう。情報の保管場所として自分の頭の中の記憶は頼りにならない。「読書はザルでの水汲みのようなもの」「つまり、忘れてしまうのです。」<sup>11)</sup>

原本とは別媒体のノート<sup>12)</sup> やカード<sup>13) 14)</sup> に書く<sup>15)</sup>。本に直接マーカーやアンダーラインや線引き書き込み<sup>16)</sup> することを勧める読書論をしばしば見聞きする。故意または過失により情報資源(本や雑誌等)を汚損/破壊<sup>17) 18)</sup> しないことを切実に推奨する。

「本はとにかく汚して、ボロボロにするべきです。汚くするのが、本に対する愛情の示し方です。」<sup>19)</sup>。「本自体をノートにしまえば、どうだろうと。」<sup>20)</sup>。「本に「らくがき」しながら読むのがおすすめです」「借りた本では絶対にやらないように」<sup>21)</sup>。「資料を読む際は、著者の主張にとって大切な箇所や、自分の研究にとって意味がある箇所、参考になる箇所に線を引いたり、読みながら考えたことや疑問に思ったことなどを欄外に書き込んだりしながら読む習慣をつけたい。ページを折ったり、付箋を使用したりする方法もある。ただし、図書館の本は汚損してはいけないため、書き込みはもちろんのこと、糊のついた付箋を使用することも控えるべきである。代わりに紙やカードなどを葉として挟み、それらにメモする方法がよいだらう。」<sup>22)</sup>

そのようなダブルスタンダードは危険を誘発する。他人から借りた本にまでついうっかりとか図書館の蔵書についわざととか日頃の癖が出るかもしれない<sup>23)</sup>。私物か借り物かにかかわらず平等公平な共通の取扱方法で一貫性をもって接遇する。われわれは次世代に引き継ぐべき文化財を一時的に預かっているに過ぎない。「自己資金で買った私有物だから、何をしてもよいではないかという考えではなく」「自分がこの本の最終所有者ではない」という自覚をもつべきだと思う」<sup>24)</sup>

11) 池上彰. 学び続ける力. 講談社、2013 (講談社現代新書; 2188)、p. 148-149.

12) 奥野宣之. 読書は1冊のノートにまとめなさい. 完全版. ダイヤモンド社、2013.

13) 水谷長志. 【研究ノート】〈知的生産の技術〉といわゆる〈アカデミック・スキルズ〉と〈司書資格科目〉と—その交差と乖離について(その二): カード考(試稿). 跡見学園女子大学人文学フォーラム、20、2022. 3、p. A70-A83. <https://atomi.repo.nii.ac.jp/records/4008>. (参照 2023-10-27).

14) 桑原武夫. わたしの読書遍歴. 潮出版社、1991、p. 35-36「カードを作れ」.

15) 日本能率協会マネジメントセンター編. 本300%活用術: 仕事力&人生力を磨く本の読み方・活かし方. 日本能率協会マネジメントセンター、2011、p. 100.

16) 林哲也. 本の読み方をめぐって: 線引き書き込みについて考える. 実践女子大学短期大学部紀要、36、2015. 3、p. 57-61. <http://id.nii.ac.jp/1157/00001330>. (参照 2023-10-27).

17) 鐘水三千男, 中沢孝之, 津森康之介著. 図書館が危ない!. 運営編: さまざまなトラブルとその対応について、法的観点をまじえて解説. エルアイユー、2005、p. 117-132 第7章 図書館資料の汚損・損壊等.

18) ずいの原作; 系山岡漫画. 税金で買った本. 1-9. 講談社、2021-2023 (ヤンマガKC).

19) 本田直之. レバレッジ・リーディング: 100倍の利益を稼ぎ出すビジネス書「多読」のすすめ. 東洋経済新報社、2006、p. 122.

20) 齋藤孝. 頭のよさはノートで決まる: 超速脳内整理術. ビジネス社、2017、p. 99.

21) 齋藤孝. 読書ってこんなに楽しいの!? : 齋藤孝流とっておきの本の読み方. 小学館クリエイティブ、2022、小学館(発売)、p. 166, p. 169.

22) ノートルダム清心女子大学人間生活学科編. よくわかる大学生のための研究スキル. 大学教育出版、2023、p. 59.

23) 林哲也. 文書管理の試行錯誤: 事務職員の立場から. 情報管理、40(2)、1997. 5、p. 150-156 より p. 154. <http://dx.doi.org/10.1241/johokanri.40.150>. (参照 2023-10-27).

24) 橋口侯之介. 和本入門: 千年生きる書物の世界. 平凡社、2011 (平凡社ライブラリー: 744)、p. 252.

そもそもマーキングは記憶への定着に有効か。心理学方面の実験結果は否定的らしい<sup>25)</sup>。「多くの人がテスト勉強の際に利用する「蛍光ペン」に関して、実際にどれだけ効果があるかを実験。」<sup>26)</sup>、「学生6人を、3人ずつの2グループに分け、片方のグループは蛍光ペンを使い、もう一方は黙読のみで勉強し、直後に行うテストの点数を比較」<sup>27)</sup>。

#### 4. 読んだ後の作業

##### (1) 読書カードを繰り込む

書店や図書館で、目の前にある本が、既に読んだことがあるのかないのか、見分けがつかないことがしばしばある。多巻もののうちの第何巻までを読了済か覚えていない、思い出せない。対策として読書記録を作成し維持更新する。要約や感想を書くのではない。主要目的は、既読か未読かを判別できるようにしておくこと。面白くなかった作品を記録しておくことは、次に読む本の選択で外れ籤を引かないために非常に有用。

手書きのカード<sup>28)</sup>で管理している。ミスコピーの裏紙などを廃物利用。A4判の反故紙1枚を4枚に裁断。特別な収納什器は使用せず普通の本棚に並べている。適宜の量を小袋に入れて文庫本程度のサイズにまとめ、人名の50音順に排列。

読書記録をつけていても、新刊書の内容が自分にとって既読か未読かを見分けることはなかなか困難。旧著が再刊にあたって標題が変わったのを、うっかり未読と勘違いしてしまうことがある。書誌の来歴や書名の変遷関係などは、新刊案内や図書館の目録を注意深く見ればわかる場合もあるが、現物を見ないとわからない場合も少なからずある。現物を見てすら判別しそこなうこともしばしば。「前に買ったことを忘れて同じ本を買ってしまうこともありますし、読み進むうちに既視感があって、おかしいと思っていたら、前に一度読んだことのあることに気づくことがあります」<sup>29)30)</sup>。

##### (2) 現物を棚に並べる

手元に残すと決めた本を自宅の本棚に並べる際は、まず判型別、次に著者名の50音順にしている<sup>31)</sup>。内容によるジャンル分け、カテゴリー分類では、どこへ何を置いたかわからなくなり所在を管理できない。書籍等からの抜き書きメモも人名の50音順に排列。人名を覚えていられな

- 
- 25) 読書猿。独学大全：絶対に「学ぶこと」をあきらめたくない人のための55の技法。ダイヤモンド社、2020、p.514-515。
- 26) ワイヤークション「TVでた蔵」2011年1月15日放送 17:00-17:30日本テレビ 所さんの目がテン！、<https://datazoo.jp/tv/所さんの目がテン！/459967>、(参照2023-10-27)。
- 27) 知識の宝庫！目がテン！ライブラリー「必勝 テスト 一夜潰け術」2011年1月15日 土曜日 17:00-17:30 日本テレビ『所さんの目がテン！』第1066回、<https://www.ntv.co.jp/megaten/archive/library/date/11/01/0115.html>、(参照2023-10-27)。
- 28) 山田 U. 読書にカードを使う方法 | 精読・記憶・習慣化、<https://notelets.hatenablog.com/entry/2022/03/12/083510>、(参照2023-10-27)。
- 29) 岸見一郎。本をどう読むか：幸せになる読書術。ポプラ社、2019 (ポプラ新書；166)、p.60。
- 30) 本好きあるある!「買った本が家の本棚にあった…」3人に2人がそんなうっかりミスを経験!、<https://honto.jp/article/wishlist.html>、(参照2023-10-27)。
- 31) 林哲也。整理・整頓・ファイリング：個人の蔵書管理と読書記録。実践女子大学短期大学部紀要、43、2022.3、p.95-110 より p.101、<https://doi.org/10.34388/1157.00002262>、(参照2023-10-27)。

いので件名や相手先で一括したファイリングも併用している。繰り込み先を誤って行方不明にしてしまう事故を防ぐ対策としては、ファイリングにおける「個別フォルダごと出して紛失を防ぐ」<sup>32)</sup> 取扱手順が参考になる。

### (3) 用が済んだ本は手放す

むやみに溜め込み過ぎると手持ち在庫の見晴らしが悪くなる。ビュッフェ形式／バイキング料理の場で、食べきれないほどの量を自分の皿に盛って無駄に残してはいけない。同様に、読み切れない量の本を買い込んで積読のまま放置しているうちに、より良い版が出版されてしまう可能性がある。

用の済んだ本は順次手放して<sup>33)</sup> ストックをスリム化する。持続可能な循環型<sup>34) 35) 36)</sup> の読書生活。古書店やリサイクルショップあるいは図書館への寄贈でリユース再利用の回路に乗せる。過度に走らずほどほどのゆるミニマリストになる。ノートやメモも、ときどき捨ててダイエットする<sup>37)</sup>。

## 5. 通読しない読書

われわれはどのように著作物と出会い、読む本を選んでいるだろうか。「読書」というと、1冊ずつの書籍を単位として通読するもののように考えがちだが、人は日常、書籍を読むよりも遙かに多くの文字情報に、逐語的・逐字的ではない読み方で対処している。雑誌や新聞、業務上の文書等を、文章として一字一句を逐って通読するよりも、ざっと斜め読みしている方が通常ではないだろうか。逐字的になど読んでいないはず。図書も新聞や雑誌と同様に、通読しないで、用のある箇所、興味関心を引かれる部分を選んで斜め読みする。通読するにはつらいけれども拾い読みするぶんにはじゅうぶん面白く、引用するに値する箇所もたくさんある場合がしばしば<sup>38)</sup>。斜め読みならばせつかく楽しく読めるものを通読にこだわってみすみす逃がしてはもったいない。斜め読みだけで済ませた場合と、精読してもやがて時が流れてスカスカになった記憶と、結果状態としては同然ではないか。

どこかの待合室でたまたま手に取った雑誌や新聞やミニコミ誌。連載を途中から読む。図書も途中から読む。途中だけ読む。欠号で跳んでしまう回がときどきある。跳び跳びに読んでそのまま放置する。テレビドラマを途中の回から見始めたり、見逃す回があったりすると同様に。もしもよほど面白ければ第1回に遡って全回を視聴する。

32) 長野ゆか. 実践! はじめてのホームファイリング: 「おうち書類」の片づけかた. 同文館出版, 2022 (Do books), p. 56-58.

33) 筆子. 本は貴重な文化財だから捨てるべきではない、という意見に私が思うこと. <https://minimalist-fudeko.com/should-keep-your-books/>, (参照 2023-10-27).

34) 石川英輔. 大江戸えねるぎー事情. 講談社, 1993 (講談社文庫: [い10]), p. 161-163.

35) 奥村悠介. 古本屋から見た歴史資料. 千枝大志, 川口淳編著. これであなたも歴史探偵!: 歴史資料調査入門. 風媒社, 2022 (爽 BOOKS), p. 64-69.

36) 稲村光郎. ごみと日本人: 衛生・勤儉・リサイクルからみる近代史. ミネルヴァ書房, 2015, p. 150.

37) 筆子. 書いて、捨てる!: モノと心の“ガラクタ”を手放せる4つのノート. 大和出版, 2020.

38) 林哲也. 参照文献はなぜ必要か. 一橋大学附属図書館研究開発室年報, 8, 2020. 3, p. 8-02-1~8-02-20より p. 8-02-4, <https://doi.org/10.15057/31229>, (参照 2023-10-27).

本は生活に必要な不可欠。本がなければ生きていけない。水のように本を読む<sup>39)</sup>。ヒトは体内に摂取する量よりも遥かに多くの水を飲用以外の用途に使用している。皿洗い、洗濯、入浴、手洗いうがい、水車小屋で粉挽き、動力、河川や海の水運、水力発電。

「読書の<内容>が水だとすれば、ひとつの脳=ダムにあまり多くの水を溜めていいことなんて、ない。水はよどみ、やがてダムは決壊する。そもそも容量が小さいのだから。」「水はどんどん海という共有場にむかって流れてゆけばいい。あるいは蒸発し、雲になればいい。流量を誇ったり人のそれと比べたりするのはまったくばかばかしい。」<sup>40)</sup>

「この世界は、書物の存在量から見たとき、いかなる巨大美術館、巨大美術展よりも、作品が信じられないほど多量にあり、はじめから逐次読みをしていたら一生かかっても絶対に読みきれないどころか、数百年かかっても読み切れないことが明らかなほどの量がある。」「[全部ははじめからじっくり読み]方式は絶対にしてはならない無謀な方式なのである。」<sup>41)</sup>

## 6. おわりに

本の読み方をめぐって、図書館で働く者の一員としての立場からいくつか補足してみた。読書から得られる情報のパーソナルな管理方法を、学生や研究者に限らずあらゆる人々に生涯にわたって有用な知識・技能として情報リテラシーの一環に位置付ける。記録管理の技法の開発・普及を通じて、世の中の文献の流通をより円滑にすることを目指す。日常の事務用品・文房具にも留意を要する。セロテープはもちろんのこと、貼って剥がせるつもりで無造作無自覚に使用されることの多いポストイット・付箋の粘着剤の有害性にも資料保存の観点から注意を喚起したい。「家庭も、事業所やオフィスとおなじ原理なのですが、ファイリング・システムを導入する」<sup>42)</sup>。

39) 北村薫. 秋の花. 東京創元社、1997 (創元推理文庫)、p. 112.

40) 管啓次郎. 本は読めないものだから心配するな. 筑摩書房、2021 (ちくま文庫：[す28-1])、p. 14.

41) 立花隆. ほくが読んだ面白い本・ダメな本そしてほくの大量読書術・驚異の速読術. 文藝春秋、2003 (文春文庫：[た-5-15])、p. 36-37, p. 41-42.

42) 梅棹忠夫. 情報の家政学. 中央公論新社、2000 (中公文庫：[う-15-11])、p. 66.